

令和3年第4回吉田町議会臨時会

吉田町議会会議録

令和3年10月18日 開会

}

令和3年10月18日 閉会

吉田町議会

令和3年第4回吉田町議会臨時会会議録目次

第 1 号 (10月18日)

○町長挨拶	1
○開会の宣告	1
○議事日程の報告	1
○会議録署名議員の指名	1
○会期の決定	2
○議案第60号及び議案第61号の一括上程、説明	2
○議案第60号の質疑、討論、採決	5
○議案第61号の質疑、討論、採決	10
○町長挨拶	11
○議長挨拶	12
○閉会の宣告	12

開会 午前 9時00分

○議長（大石 巖君） おはようございます。

本日ここに、令和3年第4回吉田町議会臨時会が招集されました。議員各位には御出席をいただき、ありがとうございます。

本臨時会に提出される諸議案につきましては、後刻、町長から説明がありますが、議員各位におかれましては円滑に議事を進められ、適正、妥当な議決に達せられますよう、最後まで慎重なる御審議をお願いいたします。

◎町長挨拶

○議長（大石 巖君） 開会に当たり、町長から御挨拶をお願いします。

町長、田村典彦君。

〔町長 田村典彦君登壇〕

○町長（田村典彦君） 皆さん、おはようございます。

議員の皆様には、議員活動にお忙しいところでございますけれども、どうぞよろしく願います。

○議長（大石 巖君） ありがとうございます。

◎開会の宣告

○議長（大石 巖君） ただいまの出席議員数は13名であります。ただいまから、令和3年第4回吉田町議会臨時会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（大石 巖君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

なお、本臨時会へ説明員として委任または囑託され、出席する者の職、氏名を一覧表としてお手元に配付しておりますので、御了承願います。

◎会議録署名議員の指名

○議長（大石 巖君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 120 条の規定によりまして、5 番、山口一博君、6 番、蒔田昌代君を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（大石 巖君） 日程第 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日 1 日限りとしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 異議なしと認めます。

本臨時会の会期は、本日 1 日限りとすることに決定しました。

なお、会議予定につきましては、お手元に配付の会期及び審議予定表のとおりでありますので、御了承願います。

◎議案第 60 号及び議案第 61 号の一括上程、説明

○議長（大石 巖君） 続いて、会議規則第 35 条の規定により、日程第 3、第 60 号議案及び日程第 4、第 61 号議案の 2 議案を一括議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

町長、田村典彦君。

〔町長 田村典彦君登壇〕

○町長（田村典彦君） 令和 3 年第 4 回吉田町議会臨時会に上程をいたします議案の概要につきまして御説明申し上げます。

今回上程いたします議案は、補正予算について 1 件、人事案件 1 件の合計 2 件でございます。

それでは、各議案の概要につきまして、御説明申し上げます。

第 60 号議案は、令和 3 年度吉田町一般会計補正予算（第 8 号）についてでございます。

本議案は、令和 3 年度の一般会計歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 1 億 98 万 3,000 円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ 119 億 5,758 万 3,000 円とする補正予算をお認めいただくとするものでございます。

第 61 号議案は、吉田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについてでございます。

本議案は、現教育委員会委員であります大石敦史氏から辞職願が提出され、本年 10 月 31 日をもって退任されることから、後任として吉田町神戸の中村成宏氏を吉田町教育委員会委員に任命することにつきまして、議会の同意を求めるものでございます。

以上が上程をいたします 2 議案の概要でございます。

各議案の概要につきましては、担当課長から御説明申し上げます。

それでは、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（大石 巖君） 町長からの提案理由の説明が終わりました。

続いて、各担当課長から詳細なる説明を順次お願いします。

初めに、総務課長をお願いします。

総務課長、久保田明美君。

〔総務課長 久保田明美君登壇〕

○総務課長（久保田明美君） 総務課でございます。

総務課からは、人事案件の1件につきまして御説明申し上げます。

第61号議案は、吉田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについてでございます。

議案書の2ページ及び参考資料ナンバー2を御覧ください。

本議案は、現教育委員会委員であります大石敦史氏から、辞職願が提出され、町及び教育委員会の辞職の同意が得られたことにより、本年10月31日をもって退任されることから、後任として吉田町神戸在住の中村成宏氏を吉田町教育委員会の委員に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。中村氏は、中村氏の住所は吉田町神戸198番地の4、氏名は中村成宏、生年月日は昭和35年8月3日、現在61歳でございます。

中村氏は、大学卒業後の昭和59年4月に学校組合立牧之原小学校に教員として赴任されて以来、平成18年4月から中央小学校教諭としての勤務を経て、平成20年4月からは牧之原市立菅山小学校、平成26年4月からは中央小学校の教頭として教頭職を8年、平成28年4月からは牧之原市立坂部小学校、平成31年4月からは牧之原市立細江小学校の校長として校長職を5年歴任され、本年3月に退職されるまでの37年間、学校教育の推進に御尽力されました。また、本年4月からは、吉田町の会計年度任用職員として中央小学校に勤務されており、これまでの経験を生かして教員補助業務に従事されております。このように長年にわたる教育現場に身を置かれ、子供たちの成長を支え続けられておられる中村氏は、教育に関する豊富な経験と高い識見を有しており、人格も高潔な方でございます。これらの経験や識見をお持ちの中村氏は、現在、町が取り組んでいる教育改革、吉田町教育元気物語、TCP Triwins Planを推進していく上で教育委員として多角的な見地から教育行政を担うことのできる適任の人材であると確信しております。

なお、本議案に御同意いただきました場合の中村氏の任期につきましては、前任者の残任期間となりますことから、本年11月1日から令和4年10月4日までとなります。

以上が、第61号議案の吉田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについての内容でございます。

御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（大石 巖君） 続きまして、財政管理課長、お願いします。

財政管理課長、八木邦広君。

〔財政管理課長 八木邦広君登壇〕

○財政管理課長（八木邦広君） 財政管理課でございます。

財政管理課からは、第60号議案 令和3年度吉田町一般会計補正予算（第8号）について御説明申し上げます。

別冊の補正予算書、令和3年度吉田町一般会計補正予算（第8号）の1ページを御覧ください。

まず、第1条でございます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億98万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ119億5,758万3,000円とするものでございます。また、第2項にございますとおり、款、項、区分ごとの補正額、補正後の歳入歳出予算額につきましては、2ページの第1表、歳入歳出予算補正のとおりお認めいただくとするものでございます。

以上が今回の補正予算の内容でございますが、今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症の追加対策に係る予算を計上するものでございます。

それでは、引き続きその詳細を別冊の説明書に沿って御説明いたします。

令和3年度吉田町一般会計補正予算（第8号）に関する説明書の3ページを御覧ください。

まず、初めに、歳入から御説明いたします。

14款国庫支出金につきましては、8,297万8,000円の増額でございます。これは、2項8目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金におきまして、8,297万8,000円を増額するものでございます。

続きまして、18款繰入金につきましては、1,800万5,000円の増額でございます。これは、2項1目基金繰入金におきまして、今回の補正予算の歳入不足額を補うための繰入金でございまして、財政調整基金から1,800万5,000円を繰り入れさせていただくものでございます。

なお、これによりまして、令和3年度末における財政調整基金残高の見込額は、16億829万円となります。

以上が歳入でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

4ページを御覧ください。

2款総務費につきましては、1,753万3,000円の増額でございます。その内訳でございますが、まず1項1目一般管理費におきましては、一般行政事務費について、庁舎1階窓口での受付業務における新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、非接触型の番号発券機の購入に係る経費70万3,000円を計上するものでございます。

次に、11目事務改善対策費におきましては、情報化推進費について、各保育園と子供発達支援事業所における職員間の接触機会を削減し、クラスターの発生防止を図るため、パソコン借上料1,683万円を増額するものでございます。

次に、4ページから5ページにかけての3項1目戸籍住民基本台帳費におきましては、戸籍住民基本台帳事務費について、当初予算で計上いたしました自動交付機のシステム改修に係る事業費77万円につきまして、歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の計上に伴い、財源振替を行うものでございます。

続きまして、3款民生費につきましては、1,045万円の増額でございます。これは、2項3目保育所費におきまして、保育園管理について各保育園と子供発達支援事業所のパソコン整備に伴うネットワーク改修に係る施設整備1,045万円を計上するものでございます。

6ページを御覧ください。

4 款衛生費でございます。こちらは、1 項 2 目予防費におきまして、感染症予防費について、予備費を充用して実施いたしましたパルスオキシメーター及び抗原検査キットの購入に係る事業費、131 万円につきまして、歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の計上に伴い、財源振替を行うものでございます。

続きまして、7 款商工費につきましては、7,300 万円の増額でございます。これは、1 項 2 目商工業振興費におきまして、7,300 万円を増額するものでございます。その内訳でございますが、商工業振興費については、プレミアム付商品券発行事業、第 4 弾に係る事業費として 5,500 万円を計上するものでございます。

また、7 ページの中小企業振興費につきましては、令和 3 年 8 月及び 9 月に発出された緊急事態措置やまん延防止等重点措置適用の影響を受け、売上げが減少した町内の中小法人、個人事業者の事業継続を支援するため、静岡県の中企業等応援金に上乗せを行う吉田町中小企業等県連携応援金として、1,800 万円を計上するものでございます。

なお、参考資料 1 につきましては、令和 3 年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業の一覧となっております。

全部で 17 事業ございまして、そのうち濃く色づけされた部分が今回の補正予算に係る内容となっております。

以上が、第 60 号議案 令和 3 年度吉田町一般会計補正予算（第 8 号）についての内容でございます。

御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（大石 巖君） 以上で上程議案の説明が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

休憩中に全員協議会を開催いたします。

本会議の再開は全員協議会終了後とします。

休憩 午前 9 時 16 分

再開 午前 10 時 38 分

○議長（大石 巖君） それでは、休憩を閉じ、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。ただいまの出席議員数は 13 名です。

◎議案第 60 号の質疑、討論、採決

○議長（大石 巖君） 日程第 3、第 60 号議案 令和 3 年度吉田町一般会計補正予算（第 8 号）についての議題とします。

これから第 60 号議案についての質疑を行います。

質疑は、最初に歳入全体についての質疑を行います。引き続き、歳出は款別に質疑を行いたいと思います。

初めに、歳入全体についての質疑を行います。

質疑については、数値や説明を受けた内容などについての確認の質疑とならないよう、また、発言は簡潔明瞭に、審議する議題に関すること以外の質疑にまで至らないよう御協力をお願いします。

質疑はありませんか。

ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） なしと認めます。

次に、歳出に入ります。

2款総務費についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 質疑なしと認めます。

次に、3款民生費についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） なしと認めます。

次に、4款衛生費についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） なしと認めます。

次に、7款商工費についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

12番、平野 積君。

○12番（平野 積君） 先ほど、全協でお伺いしましたけれども、第3回の引換券の回収率が48.8%であるというようなことがございました。まだ、商工会から詳細な結果、どれだけ売り上げたかとか、どれぐらいの業種によって差があったとか、そういう結果が出るんだろうと思いますけれども、その結果が出ていない状況において、商工会からプレミアム商品券をお願いしますという要望が出された。今日、補正予算でそれに補助を出そうと。要望が出て、補助を出そうとした、そのときに町は何ゆえにこれを補助をしようという結論は、どういう方々がどういう議論をして決めたのかというのをお伺いしたい。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

それこそ、第3弾のプレミアム付商品券の最終報告というものはまだ上がってきておりません。ただ、暫定的な報告等も受けております。換金状況でありますとか、アンケートも実施しておりますので、アンケートの結果を一部こちらのほうに提出のほうもされておりました、事業者の方から好評ということもその結果のほうからも読み取れる状況でございます、あと、新聞報道でもございましたが、10月上旬に商工会のほうから要望書が正式に上がってきたところでございます。

町のほうとしても、まだ第3弾の結果が出ていないという状況ではございますが、そういった暫定の報告、要望等加味しまして上層部のほうとも協議をさせていただいて、その商品

券発行事業というものが、一番町にとってよいという判断をした中で、今回、補正の要求のほうをさせていただいている状況です。

以上です。

○議長（大石 巖君） 12番、平野 積君。

○12番（平野 積君） 先ほどの全協のときも、好評であると、業者に。だいたい70%ぐらいの人が、業者が好評であるというようなお話がありましたけれども、どういう方々が好評であるという情報も1回、2回目では同じような結果であると。3回目も同じような結果であるということ。じゃ、残りの30%の人たちの御意見というのは伺った上で、今回の結論とかそういうもの出されているのか、その辺はどうなんですか。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

それこそ、1弾、2弾、3弾もそうなんです、やはり食品であるとか飲食での使用率が高いという状況でございます。そういった中で、やはり商品券が使われていない店舗も数件これまでもあるということもございますけれども、そういった中で店舗で使ってもらおうというお店の努力というものも商工会のほうから投げかけていただいて、各店舗で独自のサービスというものもやっていただいております。あと、これまでやっていた中で、例えば、北区の方が住吉の店舗、知らないということもどうもあったようですので、そういったうまい地図を作成してお知らせするか、そういった何かうまいアナウンスができないかというところも今、ちょっと時間はないんですが、検討して、何か皆さんに店を知ってもらおう、行ってもらおうということで商品券を使ってもらおうというようなことで今、考えております。

以上です。

○議長（大石 巖君） 12番、平野 積君。

○12番（平野 積君） 引換券が48.8%であったという事実に対しては、町としてはどういうふうにお考えなんでしょうか。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

それこそ、1週間ほど町民を対象にした先行販売をやらせていただきまして、半分いかなかったという結果ということで、非常にその辺は、当課としましても難しいなということで思っています。その商品券の販売の時期も関係しているのかなということでは思っておりますが、今後4弾につきましては、年末年始ということころで、そこでかなり使用が上がるのかなと言うところでございます。第3弾は今、言ったように時期が関係しているのもあるのかなというところで考えております。

以上です。

○議長（大石 巖君） 12番、平野 積君。

○12番（平野 積君） 基本的には、プレミアム商品券どんどんやっていただきたいという思いがあるんですけども、やっぱりそういう中において、しっかりと町がこれに対する効果とか判断した上でやっていただきたいという思いがあつてこういう質問しているわけですけども。第3回の、第1回、第2回あったと思うんですが、その第2回、第3回の使用状況とかそういう報告というのは、議会に対する報告というものはあるのでしょうか。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

これまでも町政連絡会で報告をさせていただいておりますので、今年度の第3弾の報告につきましても、今後行われる予定の町政報告会のほうで議員の皆さんに報告させていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（大石 巖君） ほかに。

2番、楠元由美子君。

○2番（楠元由美子君） 2番、楠元です。

同じ場所になります。

先ほどの全協のほうで、今回のプレミアム商品券の事業の発行枚数5枚セットということでお聞きしました。こちらのほうは、前回、商品券のほうで発行されておりますけれども、今回も同じような商品券として発行されることになっているのでしょうか。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

それこそ、プレミアム付商品券発行业というところで、それを実施する商工会に町が補助金を出すということでございます。先ほどの全協でも話をさせていただきましたが、プレミアム商品券の発行ということで、それに限った形の事業に対して支援するというものでございます。

以上です。

○議長（大石 巖君） 2番、楠元由美子君。

○2番（楠元由美子君） 2番、楠元です。

商品券というものに、じゃ、今回も前回と同じような形の発行业になるような形というふうに理解したんですけれども、例えば、近隣のところだと、例えばLINEとかを使った形で、もちろん商品券も本当、町の人たちでは利用しやすい方もいらっしゃるので、そういった券も必要だと思っただけなんですけれども、そういったLINEとかのほうで利用できるようなサービスとかを取り入れているような近隣の場所もございますけれども、商工会のほうからはそういった御相談というか、今回、事業主さんとかの中でも、そういった券に限らずそういった形のものとしても一部できるような形がないかというような御相談みたいのはなかったんでしょうか。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

それこそ、近隣の市でやっているということで、クーポンというのは、もちろん私どもも承知してございますし、商工会のほうも承知しております。そういった中でその協議して、一番、吉田町の事業者に合ったものは何かということで、今回、商品券ということで判断をいたしました。クーポンにつきましては、やはりできる店、できない店というものがまだあるということで、総合的に判断して商品券、有効であるということで、商工会のほうと協議してプレミアム付商品券発行业の実施ということで、これから実施したいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（大石 巖君） 2番、楠元由美子君。

○2番（楠元由美子君） 2番です。

一応商工会のほうもそのような形のものも御理解はされているというお話を聞きましたけれども、事業主さんの中でも、今までのような形態のものがやりやすい方も重々承知はしているんですが、例えば町の中だけの活性化もそうなんですけれども、事業主さんに対して応援するというような意味も含めてなんですけれども、今の状態ですと、販路が比較的、町の中だったりとか、近隣だったりとかというような、結構小規模なイメージがあるんですけれども、今後、また、今回はこういう形でということなので、それはそれで進めていただいて全然いいんですが、また今後、もう少し町のそういった、例えば今回、商品券を使われなかったお店さんも、もしかしたらこの吉田町とかそれ以外のところのもう少し大きい規模の地域とかだったら必要とされる方もいらっしゃるかもしれないので、またそういった形のものも今後、商工会の方と何かしら町が提携されるようなものができればもっと町の事業主さんにももっといい影響も与えると思うので、また今後考えていただきたいと思います。

以上です。

○議長（大石 巖君） 回答はよろしいですか。

○2番（楠元由美子君） はい。

○議長（大石 巖君） ほかに質問はありませんか。

1番、福世義己君。

○1番（福世義己君） このプレミアム商品券についてですけれども、買った人の年代層、何歳ぐらい、10代、20代、30代、それぞれの年代がどれぐらいの商品券を買ったかというようなそういう統計的な資料というのはお持ちでしょうか。

○議長（大石 巖君） 産業課長、中山孝宏君。

○産業課長（中山孝宏君） 産業課でございます。

それこそ、第3弾のプレミアム付商品券につきましては、購入引換券を各世帯に発送しておりまして、世帯主のお名前でもらっています。世帯でまずは5セットまでということによってしております。その後、一般販売につきましては、個人1人5セット、あと町外、町内在勤者も購入可能ということによっておりまして、年代別のところは、そのところは取っておりません。

以上です。

○議長（大石 巖君） ほかにありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 本議案についての質疑を終結したいと思います、全般にわたって、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 質疑がないですので、これで質疑なしと認めます。

以上で第60号議案についての質疑を終わります。

これから第60号議案についての討論を行います。

発言は許可の後、登壇して行うようお願いします。

反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 討論なしと認めます。

採決に入ります。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第61号の質疑、討論、採決

○議長（大石 巖君） 日程第4、第61号議案 吉田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

9番、増田剛士君。

○9番（増田剛士君） 9番、増田です。

全協のほうで前任者が辞める理由というようなことも聞いております。そうした中で、今回のこの方に関しましてはそうなんだけれども、この選任するに当たって、基準というのはいろいろ法的なものであります。でもその周りの環境、その方の、環境によっては前任みたいな形になる可能性もあると思うんですが、そういったその選任に当たってのチェック、俗にいう身体検査みたいのところに関してははされておいて、今回の方はもう大丈夫ですよというところで選任されてきているんでしょうか。

○議長（大石 巖君） 学校教育課長、糸田真男君。

○教育委員会事務局長兼学校教育課長（糸田真男君） 学校教育課でございます。

今回、同意を求める中村成宏氏につきましては、先ほど総務課長のほうから詳細説明がございましたとおり、元教諭ということで本年度まで学校の教諭をしておりました。本年度3月末で牧之原市立細江小学校の校長を退職されたという中で、現在、町の会計年度任用職員として中央小学校の教員補助という形でお仕事をされております。そういった中で今回の教育委員の話につきましては、中村氏、推薦するに当たって、我々、面接をさせていただいてお話を聞いております。教育委員の内容を、こういったことをやるんだよということ、それから任期は基本は4年間だよということ、今回につきましては、大石さんの後で、後任ですので、残任期間ですよという話をした中で、教育委員会、実際、月1回の定例会は必ずあります。それプラス臨時会がその必要な都度開催される、それからそれ以外にも、教育委員としていろんな町の会議に出なければいけないものもありますので、そういった会議にも出させていただくというようなお話をした中で、その町の会計年度任用職員の教員補助、これは実は週3回というところを、週3日です、6時間、教員補助の時間、1日6時間の週3日勤務という形になっております。それから、県のほうの新規採用職員の指導も行っているというところもあるんですが、そういった今の現在の仕事も加味した中で、そういった教育委員会の会議の調整ができるだろうということも御本人と話を合意されたということになりますので、この教育委員を受けられるということの本人の合意とこちらも教育委員としてや

っていけるだろうと判断をさせていただいて、御本人の承諾書いただいた上で、今回上程させていただいたという内容になりますので、御承知いただければと思います。

以上になります。

○議長（大石 巖君） ほかに質疑はありませんか。

8番、山内 均君。

○8番（山内 均君） 一つお伺いをいたします。

経歴を見て、学校の関係でずっと勤められていたと。今、世の中の情勢って意外と多様性が求められている中で、重要なことになると思うんですけど、教育委員会のほうに選任された方、何人かの中に、その内の、その中から選ばれたということですか、それとも1人だけで任命されるような形になったんですか。

○議長（大石 巖君） 学校教育課長、糸田真男君。

○教育委員会事務局長兼学校教育課長（糸田真男君） 学校教育課でございます。

選任につきましては、詳細な内容につきましては、なかなか詳しくというところまでは御理解いただきたいところではあるんですが、もちろん1人だけを候補にというところではなくて、当然、複数人の候補者の中からお話をさせていただいたという内容となります。

以上になります。

○議長（大石 巖君） いいですか。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） ないようですので、これで質疑を終結します。

これから討論を行います。

発言は許可の後、登壇して行うようお願いいたします。

反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 討論なしと認めます。

採決に入ります。

お諮りします。

本案について、同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大石 巖君） 異議なしと認めます。

したがって、本案について同意することに決定しました。

◎町長挨拶

○議長（大石 巖君） 以上で、令和3年第4回吉田町議会臨時会の全ての日程が終了しました。

閉会に当たり、町長から御挨拶をいただきます。

町長、田村典彦君。

〔町長 田村典彦君登壇〕

○町長（田村典彦君） 御苦労さまでございました。

◎議長挨拶

○議長（大石 巖君） 本臨時会におきましては、予定された議事が終了し、無事閉会の運びとなりました。

これも議員各位の終始極めて真剣な御審議によるものと心から厚くお礼申し上げます。

◎閉会の宣告

○議長（大石 巖君） これで、令和3年第4回吉田町議会臨時会を閉会いたします。
御協力ありがとうございました。

閉会 午前11時00分